

市内市立小中学校における新型コロナウイルス感染症対策について

1 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る市立小中学校の臨時休業について

市立小・中学校において、新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的として、臨時休業を実施している。

(1) 臨時期間中や学校再開時の児童生徒の様子

【臨時休業】3月5日（木）～3月24日（火）

○家庭での様子（学習、生活の状況等）

- ・学校から出した課題に対して、多くの子どもはやってきたものの、課題をやらない子どももみられた。
- ・家庭訪問では、落ち着いて学習を進めている姿がある一方、友だちどうしでネットゲームをし続けている姿もあった。
- ・授業と比べると家庭学習教材では学習量が少なく、物足りないという子どももいた。
- ・臨時休業中の不安から、ハートサポートによる相談を希望する子どももいた。

○学校における一時預かりでの様子

- ・学年の制限や学童保育所の終日運営のため、人数が少なかった。
- ・教室で過ごす人数も少なく、ほぼ一人で学習するような状況であった。
- ・子どもは、静かに学習している様子であったが、長時間集中することは難しい様子であった。

【学校再開時】4月6日（月）～4月14日（火）

○学校再開時の様子

- ・久しぶりに友だちに会うことができ、喜んでいたが、臨時休業に再度入ることになった時は、寂しそうにしていた。
- ・子どもたちは、新しい学年の教科書を使った学習を楽しみにしていた。
- ・休業中に体を動かす機会が少なかったせいか、休み時間に外で遊ぶことを楽しみにしていた。
- ・授業中は落ち着いている様子であったが、休み時間には、これまで以上に友だちとのコミュニケーションをとる場面が見られた。

【臨時休業】4月15日（水）～5月31日（日）

※今回の臨時休業は、今後の状況などを踏まえ変更する場合がある。

○家庭での様子（学習、生活の状況等）

- ・テストが無い中での成績のつけ方や受験範囲に対して子供が不安に思っている。
- ・部活動がなく、体力が有り余っている子どもがいる一方で、部屋に閉じこもってゲームばかりしている子どももいる。
- ・環境の変化による不安等から、体重が減少する子どももいた。
- ・オンライン学習教材が利用できない家庭からは、配慮を求める声があった。

○学校における一時預かりでの様子

- ・前回の一時預かりと比較して、小学校全学年が対象となったこと等から、希望者が増加した。
- ・週の前半は集中して取り組んでいるが、週末になるにつれて崩れてくる様子が見られる。
- ・新しい学年になり、学習教材への取り組み方等に戸惑う子どももいた。

(2) 臨時休業による児童生徒への影響について

①学習面

- ・日常的な学習習慣から離れてしまう状況にある。
- ・インターネット動画やゲーム等への依存が高まっている。
- ・計画的に課題を行える子と行えない子での、学習習慣の定着に差が出始めている。

②健康・体力面

- ・学校への登校がないことから、生活リズムが乱れる可能性がある。
- ・運動できる場所が限られており、運動する機会が不足している。
- ・部活動や友達等と遊ぶことができず、ストレスがたまっている。

なお、配慮が必要な児童生徒等については、より丁寧に影響を調査し、対応を検討していく必要がある。

2 臨時休業に伴う「学びの保障」について

休業日の活用や日々の教育活動を工夫することによって授業・補習時間を確保し、臨時休業により生じた、学習面や健康・体力面での課題等に対応していく。また、オンライン学習教材である「学んでE-net!」の活用等を進め、家庭学習の充実も図っていく。

授業・補習時間の確保と家庭学習の充実を組み合わせることによって、子どもたちの「学びの保障」を図っていく。

(1) 授業・補習時間の確保

(1) 長期休業期間の短縮及び補習

○長期休業期間の短縮（予定）

夏季休業日及び冬季休業日を短縮することで、臨時休業中の学習に係る時間を確保する。

1学期	～7月31日（金）終業式
夏季休業	8月1日（土）～8月23日（日）
2学期	8月24日（月）始業式～12月25日（金）終業式
冬季休業	12月26日（土）～1月7日（木）
3学期	1月8日（金）～

○夏季休業中の補習

学習内容をさらに定着させたい児童生徒について、補習を行う。

期間 8月3日（月）～7日（金）の5日間

(2) 日々の教育活動を工夫することによる授業時間の確保

- ・日課の工夫による時間の確保
- ・学校行事の精選、中止、行事の準備、練習の簡略化による時間の確保

(2) 家庭学習の充実

(1) 教科書を用いた自主学習

5月までの未履修部分について、教科書を用いた自主学習を行う。

(2) オンライン学習による自主学習

①「学んでE-net！」の活用

- ・「学んでE-net！」は、教科書に準拠しており、家庭で教科書とセットで自学自習を進めることができる。
- ・学校が再開した場合においても授業で多様に活用することができる。
- ・家庭学習にも計画的に活用でき、授業と家庭学習を結びつける学習効果も期待できる。

② 学校ホームページの活用

各学校のホームページにおいて、学校からのメッセージ、各種説明会、授業動画等を掲載する。

<市内市立小中学校児童生徒の家庭におけるオンライン学習環境調査>

市内市立小中学校の全児童生徒が「学んでE-net！」を効果的に利用できるようにするため、また、各学校のホームページを閲覧できるようにするために、各家庭におけるオンライン環境の調査を行った。調査内容は以下のとおりであり、この調査の結果を基に、オンライン学習による自主学習を推進するための方策等を検討していく。

【調査内容】

調査日：令和2年5月1日（金）～ 令和2年5月10日（日）

対 象：市内市立小中学校児童生徒の保護者

内 容：各家庭におけるネット環境の状況 等

方 法：全保護者にすぐメールにて、アンケート調査を実施

※回答がない保護者については、各学校から電話等にて確認

3 学びの保障を行うための課題について

○夏季・冬季休業期間の活用

夏季休業中は気温が高くなることが予想されるため、登下校時においては、経口補水液等の熱中症対策が必要となる。また、夏季休業中等に実施する改修工事の調整や通常授業を行う場合には、給食の提供も必要となる。

○家庭学習の充実

「学んでE-net！」等を活用するための、オンライン学習環境の整備が必要となる。